

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	レガータ
住 所	大阪府北区菅栄町4-6 クレストⅠ 1 階
電話番号	06-6232-8975

事業所番号	2714102924
管理者名	岡本 真依
対象年度	令和6年度

（Ⅰ）労働時間

①1日の平均労働時間が7時間以上		30
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満		
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満	○	
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		点

（Ⅱ）生産活動

①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		40
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		点

（Ⅲ）多様な働き方（※）

①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		15
就業規則等で定めている	○	
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている		
⑤短時間勤務に係る労働条件		15
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		15
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		15
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）	7	点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅳ）支援力向上（※）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		15
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合	○	
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合	○	
⑤職員の人事評価制度		15
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している		
⑦第三者評価		15
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している		
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		15
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）	5	点

（※）8項目の合計点に応じた点数（注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点

（Ⅴ）地域連携活動

地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	10
1事例以上ある場合：10点		

（Ⅵ）経営改善計画

経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	0
期限内に提出していない場合：-50点		

（Ⅶ）利用者の知識・能力向上

前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	10
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数	5点	20点	30点	40点	55点	65点	80点	90点
労働時間									
生産活動									
多様な働き方									
支援力向上									
地域連携活動									
経営改善計画									
利用者の知識・能力向上									

合計	120	点	／200点
----	-----	---	-------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（令和6年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	12,495.75	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	3,190	人	利用者の1日の平均労働時間数	3.92	時間
-----------------------------	-----------	----	-------------------	-------	---	----------------	------	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（令和4年度）

生産活動収入から経費を除いた額	-	円	利用者に支払った賃金総額	-	円	収支	-	円
-----------------	---	---	--------------	---	---	----	---	---

前々年度（令和5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	-	円	利用者に支払った賃金総額	-	円	収支	-	円
-----------------	---	---	--------------	---	---	----	---	---

前年度（令和6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	16,092,784	円	利用者に支払った賃金総額	15,791,693	円	収支	301,091	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

①免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度

◎免許・資格取得、検定の受検奨励に関する制度を定めている	☒
------------------------------	-------------------------------------

②利用者を職員として登用する制度

◎利用者を職員として登用する制度を定めている	☒
------------------------	-------------------------------------

③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

④フレックスタイム制に係る労働条件

◎フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	☐
-------------------------	--------------------------

⑤短時間勤務に係る労働条件

◎短時間勤務に係る労働条件を定めている	☒
---------------------	-------------------------------------

⑥時差出勤制度に係る労働条件

◎時差出勤制度に係る労働条件を定めている	☒
----------------------	-------------------------------------

⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

◎有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	☒
-------------------------------	-------------------------------------

⑧傷病休暇等の取得に関する事項

◎傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	☒
-----------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（令和6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

◎研修計画を策定している	☒
◎外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	☒
※研修名 「障がい者支援の基礎 “支援者の虐待を防ぐ”」	
研修講師 山内 晋也（社会福祉法人武蔵野会リハビリテーション施設長）	
実施日・受講者数 4月15日～ 3人	

②研修、学会等又は学会誌等において発表

◎研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	☒
※研修、学会等名 実践報告会	
実施日 10月18日	
※学会誌等名	
掲載日 月 日	
発表テーマ 事業所の取り組みについて	

③視察・実習の実施又は受け入れ

◎先進的事業所の視察・実習の実施している	☒
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	☒
※先進的事業者名 就労継続支援A型事業所 ルプラス	
実施日/参加者数 9月13日 1人	
※他の事業所名	
実施日/参加者数 月 日 人	

④販路拡大の商談会等への参加

◎販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している。	☒
※商談会等名 異業種交流会 フレンドリンク	
主催者名 株式会社 アキタテイ	
日時 9月10日	
内容 販路拡大のための名刺交換会、交流会	

⑤職員の人事評価制度

◎職員の人事評価制度を整備している	☒
◎当該人事評価制度を周知している	☒
人事評価制度の制定日 令和3年3月1日	
人事評価制度の対象職員数 3名	
うち昇給・昇格を行った者 名	
当該人事評価制度の周知方法	
人事評価実施の案内を全事業所に掲示。同案内を全社メールにて通知。	

⑥ピアサポーターの配置

◎ピアサポーターを配置している	☐
◎当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	☐
※配置期間 月 日～ 月 日	
就業時間	
職務内容	

⑦第三者評価

◎前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	☐
※評価を受けた日 月 日	
第三者評価機関	

⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等

◎ISOが制定したマネジメント規格等の認証を受けている	☐
※認証を受けた日 月 日	
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画

◎指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。

※受理日 年 月 日	
※経営改善計画の提出を求められていない。	

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援A型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	レガータ
住所	大阪府大阪市北区菅栄町4-6 クレストⅠ 1階
電話番号	06-6232-8975

事業所番号	2714102924
管理者名	岡本 真依
対象年度	令和6年度

地域連携活動の概要

〈活動内容〉

活動場所： 株式会社 武蔵野 大阪工場
実施日程： 2024年2月1日～現在継続中

実施した生産活動・施設外就労の概要：

- * 工場内共用部分の清掃作業
ウォーターサーバーの洗浄とタンク交換
工場職員への衣服ローラー掛け等
- * 週5日 10：00～14：45（休憩45分）実働4時間
- * 月曜～金曜 各日7名

〈目的〉

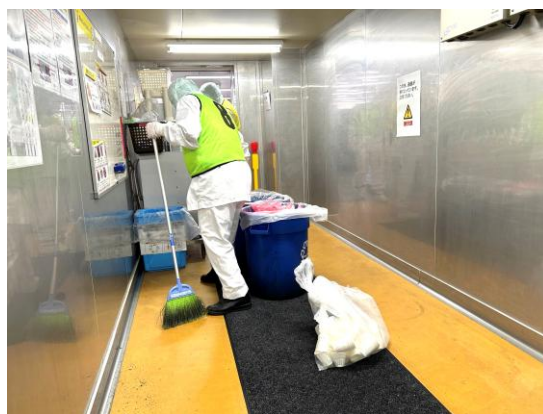
- ・社会との繋がりを体感してもらう
- ・一般就労への可能性の拡大
- ・人材不足の解消
- ・障害者への偏見や思い込みの解消
- ・自身で賃金を得る事による自己有用感の向上
- ・人間関係の構築を学ぶ

〈成果〉

- ・他者との関係作りを理解、実践できる
- ・規則正しい生活により体力面と精神面の向上
- ・自発的に考え、目的意識を明確にする
- ・他者との交流を通じて協調性を学ぶ

課題点としては、一般就労から離れていた方への生活習慣の見直しやモチベーションの維持向上。社会の一員であるという責任と自覚を持って仕事に取り組めるように個々の能力やレベルを把握し都度サポートできるよう職員のスキルアップを図っていきたい。

〈活動の様子〉



廊下や階段など共用部分の掃き掃除・モップ掛け・拭き上げ・ゴミ集めを、レベルに差がつかないように毎日順番に担当を変えて清掃作業を行っている。



工場内に5ヶ所あるウォーターサーバーの洗浄や紙コップ・粉末のアクエリアスの補充などを清潔を意識して丁寧に行っている。

その他業務

- ・工場周辺のゴミ拾いと草むしり
- ・大型機械洗浄機の洗浄等々

連携先の企業等の意見または評価			
いつも元気に挨拶してくれて、ルールも遵守しながら作業を行っています。とても助かっています。 今後もよろしくお願いします。			
連携先企業名	株式会社 武蔵野 大阪工場	担当者名	藤岡 美奈子 様

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	レガータ
住所	大阪府大阪市北区菅栄町4-6 クレストⅠ 1階
電話番号	06-6232-8975

事業所番号	2714102924
管理者名	岡本 真依
対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

〈活動内容〉

活動場所： A型事業所 エクト
実施日程： 2024年9月27日

実施した取り組みの概要：

- * 生活の基本（金銭管理編）
- * ビジネスマナー

1名

〈目的〉

- ・ お金にまつわる知識の向上
- ・ 金銭管理を学びお金の使い方を考える。
- ・ ビジネスマナーを知り、一般就労に向けた意識の向上。

〈成果〉

- ・ 漠然としていたお金への不安が自分の中で整理できた。
- ・ 貯金したいという意欲が高まった。
- ・ お金にまつわる危険は、すぐ身近にあると気付けた。
- ・ ビジネスマナーの基本と重要性が理解できた。
- ・ 名刺交換の仕方を知ることができた。
- ・ 出席予定で急遽欠席となった利用者数名から「次回は必ず出席したい」と知識向上への意欲が高まった。

〈活動の様子〉



注意点などを指導してもらいながら
参加者全員名刺交換の練習。



ホワイトボードで図を使って、分かりやすくお金の流れを説明。

各自配られた資料に気になったことを書き込んだり質問に答えたり積極的に学びに参加されていた。

連携先の企業や事業所等の意見または評価			
図を使っでの説明が分かりやすいと感じた。実践を通して学ぶことで、より理解の定着や意識の向上が図れると思った。 ご利用者が知りたいことを学ぶ機会があることは良いと感じた。またこういった機会があると知ったご利用者自身からも参加の意欲が伺えたため、予めどういったことを知りたいか・聞きたいか等をご利用者から聞き取り、活用することでより効果的な知識を得る場になると感じた。			
連携先企業名	東大阪市障害者就業・生活支援センター J-WAT	担当者名	大坪 真実 様
利用者からの意見・評価			
お金の話は分かっていることがほとんどだったが、あらためてお金の使い先を表で見て「ちゃんと貯金して、金銭管理をもっと頑張らないといけない、頑張りたいと思った。 ビジネスマナーは名刺交換の仕方がためになった。将来的に名刺交換するような仕事に就いた時に役に立つと思った。そういう仕事に就けるよう今からしっかり計画を立てていきたい。			